

こんなところにさりげない照明がある、
というのがいいですね。



網走市教育委員会
教育部次長
オホーツク・文化交流センター長

高橋 永喜さま

このセンターは「選択・学び・活用」をコンセプトにしています。2000年のオープン以来多数の方に利用されています。施設が完成した時は、きれいだなぁというのが第一印象です。照明に関しても「出会いの場である」ということを意識して、お年寄りの利用も多いものですから目にやさしい最低限の照度をとるなど、人にやさしい照明をめざしました。エントランスの間接照明など、こんなところにさりげない照明が、というのがいいなと思います。外観も展望室の上にあるポールが4色に変化したり、まるで鏡のように川面にあかりが映って、新しい網走のシンボルになっている。今までこういう風景が網走にはなかったので、嬉しいですね。



外観ライトアップ：手前を流れる網走川に照明

建築デザインに白色塗装し、ライトアップにより4色に変化させている屋上避雷針マスト



照明部分のカバーに障子の手法を使用した2階交流室



1階情報センター：27Wユーラインダウンライト電球色で温かみを出している



■ 施工物件
エコーセンター2000
オホーツク・文化交流センター
網走市立図書館

■ 建物の概要
所在地：北海道網走市北2条西3-3
延床面積：8,274.424m²
構造・規模：鉄筋コンクリート造一部
鉄骨鉄筋コンクリート造
・地上4階建
設計：(株) 久米設計
施工/建築：丸田・協栄・和田・金井・太陽JV(1工区)
塩川・夏見・渡辺・和晃JV(2工区)
三共・中一・阿部・北工JV(3工区)
電気：東和・昭和・山本・横田JV(1工区)
高木・成田・協和・光栄JV(2工区)
道北・笹森・オホーツク・極光JV(3工区)
竣工：平成12年9月



2階会議室：2灯用32W Hf埋込器具（下面開放形）を設置

今までにないあかりをめざしました。



が映り込み、新たな景観をつくりだしている

エントランスのアール部分に入る間接照明で苦労しました。



高木電業株式会社
工事主任

森田 明広さま

エントランス壁面の間接照明ですが、壁面が石壁仕上げなんです。で、そこに軽くアールがかかっている。その石壁の裏に間接照明用トラフ器具を付けようとしたら、アールのせいでどうしても器具の端が石に引っ掛かってしまうことに気づいちゃいました。何しろ厚さが30cmの石ですから、おいそれと加工するわけにもいかないし…。20Wの器具なら引っ掛からずに入るんですが、それだと本数が多くなって交換が大変ですからね。



エントランスホールの間接照明

幸い気づいたのが早かったので、背後の壁の方をへこませることで対処できましたが、もう少し気づくのが遅かったら本当に大変でした。

常にお客さまとの信頼関係を築き、積極的にこちらから提案を。

当社では日頃より建築業者との信頼関係を持ち、建築主・施主様の要望をかなえるのはもちろん、こちらからの提案も積極的に行っています。具体的には省エネや防犯について、こちらからご提案させていただくことが多いですね。リニューアル時にも、インバーター器具への交換などをこちらから積極的に提案したりしています。

特に苦情の処理やメンテナンス対応には、昼夜を問わず迅速に対応しています。こういったことの積み重ねが、本当の信頼関係を築き上げることにつながっていると思いますね。



高木電業株式会社
代表取締役

横山 秀嗣さま



アトリウムロビー：3灯用42Wユーライン3（電球色）ダウンライトと1灯用250WハロゲンランプHIDダウンライトを交互に設置（ともにオートリレー付）



北海道／網走市
高木電業株式会社

■ 会社のプロフィール
所在地：網走市南五条西3丁目13番地
従業員：15名
営業種目：電気工事業・電気通信工事業・
消防施設工事業
年間工事高：3億3千万円
創立年：昭和26年8月